

科目ナンバー	B2710	要件	選択	授業形態	講義	対象学生	I A B
授業科目	生命の自然誌						
実施期	後期	単位数	2単位	授業担当者	磯辺 ゆう		
【科目の概要】							
生物の世界の全体像を知り、進化の過程を追いながら、生き物の生活のし方、生物相互の関係の持ち方について学ぶ。随時、観察を行い、自然への関心と理解を深める。講義には、就職後も役立つように身近な学園内、近隣の水族館、博物館、奈良公園等からの生物写真を多く用いる。提出物へのフィードバックを適宜行う。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	自然に関する基本的な知識を身に付けている。						1-b
イ	図や表の内容を読み取ることができる。						1-b
ウ	観察を通して好奇心と感じる心を深めようとしている。身近な自然に気付くことができる。						4-b
エ	時間外学習に積極的に取り組み、自分の生活や保育の内容を深めようとしている。						4-d
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	生物の世界の全体像、種と分類の基本を、身近な生き物から学ぶ。			月 日	毎回、ねらいとテーマの表に記入する。		
2	生命（細胞）の誕生：月探査から知る生命の誕生説			月 日	4週間、毎日月を見て形、時刻、方角を記録する。（2時間）		
3	水中微生物の観察			月 日			
4	生態系：学園内ビオトープとその生き物の観察			月 日			
5	植物の上陸と維管束。植物を知る。			月 日			
6	菌類の生き方。藻類、菌類、植物の観察			月 日	きのこを食べる。		
7	海の生き物観察（チリメンモンスターを探す。）（結果発表）（獲得を目指す力の確認）			月 日	チリメンジャコを食べる。		
8	魚類の基本と、最初の両生類の手足の機能とは？			月 日	飼育中の金魚を観察、行動を記録する。（0.5時間）		
9	恐竜はどんな生き物だろう。鳥類との関係は？			月 日	図書館で動物関係の本を借りて読む。（0.5時間）		
10	恐竜の誕生、発展と絶滅の原因-大災害。その中での哺乳類の生き方			月 日			
11	葉を食べる昆虫と植物の攻防。葉の匂いの観察			月 日	匂いのする葉を料理に使う。		
12	花と昆虫の深い関係。花の観察			月 日	蜂蜜を食べよう。または蜂か蜂蜜の出してくる本を図書館で借りて読む。（0.5時間）		
13	種をまくいろんな方法。植物は動物を使う。ドングリ他の観察			月 日	種を探す。（1時間）		
14	果実とサル類の発展。果実の観察			月 日	星座を見つけ、その物語を調べる。		
15	人類の進化と私達。子育ての意味			月 日	ねらいとテーマの表完成		
16	テスト			月 日			
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
毎回プリント教材を用いる。				平常点（授業参加態度+提出物 40%）、定期試験 60%			
【参考書・教材】							
図書館の自然関係図書・図鑑類。適宜授業内で紹介する。							
【履修要件及び履修上の注意事項】							
公欠・欠席の場合も提出物を出すこと。プリントが多いので、きちんと保管し、毎回持ってくること。プリントは試験に必要。							
【履修上の遵守事項】							
出席した時、ねらいとテーマの表を必ず提出すること。出さない場合は1/3の欠席とする。							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先：N10 研究室				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	動物についての知識		魚類、両生類、爬虫類、恐竜、鳥類、哺乳類について、見分けることができる。	魚類、両生類、爬虫類、恐竜、鳥類、哺乳類の例を2つあげることができる。	魚類、両生類、爬虫類、恐竜、鳥類、哺乳類の例を3つ以上あげることができる。
ア②	植物と菌類についての知識		身近にある植物3種類と菌類2種類の名前を挙げることができる。	植物は光合成をし、菌類は分解をする生き物であることがわかる。	森林が植物と菌類の働きで成り立っていることがわかる。
ア③	生き物の関係についての知識（花粉を運ぶ、種を運ぶなど）		生き物がそれぞれ生き方を工夫していることがわかる。	互いに深い関係を持って生きている植物と動物の例を2例あげることができる。	互いに深い関係を持って生きている植物と動物の例を3例あげることができる。
ア④	自分をとりまく自然についての知識		決まった場所（家又は学校等）で方位（東西南北）がわかる。	決まった方位に、月が毎日見えるわけではないことに気がつく。	月の満ち欠けと、方位と時刻の関係がわかる。
ア⑤	人間についての知識		長い歴史を経て今の人間がいることがわかる。	サルの仲間の特徴を人間が受け継いでいることがわかる。	人間が自然の中の一員で、特に子育てが重要な生き物であることがわかる。
イ	図や表の理解		図の縦軸と横軸、表の縦項目と横項目が表していることを理解できる。	図や表が示していることを読み取る事ができる。	図や表が示している意味を、言葉で表現できる。
ウ①	水中と水辺の生き物への気付き（池の観察）		水辺と水中に生育する植物があることに気付く。	水の中にいろんな小さな生き物がいることに気付く。	小さな生き物も種類ごとに特有の動きかたをすることに気付く。
ウ②	季節への気付き		その季節に特有の気温変化や雨や雲に気が付く。	その季節に特有の生き物やその変化に気が付く。	季節の移り変わりと自分の対応、子どもへの対応に気が付く。
ウ③	生き物に対する観察力と好奇心		生き物の観察を楽しんでいる。	観察や話を通して、今までより親しみを感ずるようになった生き物が3種類以上ある。	生き方をもっと知りたいと思う生き物が5種類以上ある。
エ①	積極的な時間外学習		振り返りシートと、時間外学習を8割以上実施している。	時間外学習をする中で、講義の内容が、元からの自分の生活にも関係していることに気が付く。	時間外学習を通して、新たに行うようになった事が一つ以上ある。 (月や空を見る習慣ができた、季節のものを食べようとするようになった等)
エ②	保育との関係への気付き		身近な食べ物からも生き物の観察ができることに気付く。	食べ物、絵本、おもちゃを通して子どもと生き物についてわくわく感を共有できると思う。	子どもたちと共に身の回りの自然を楽しめると思う。

この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等